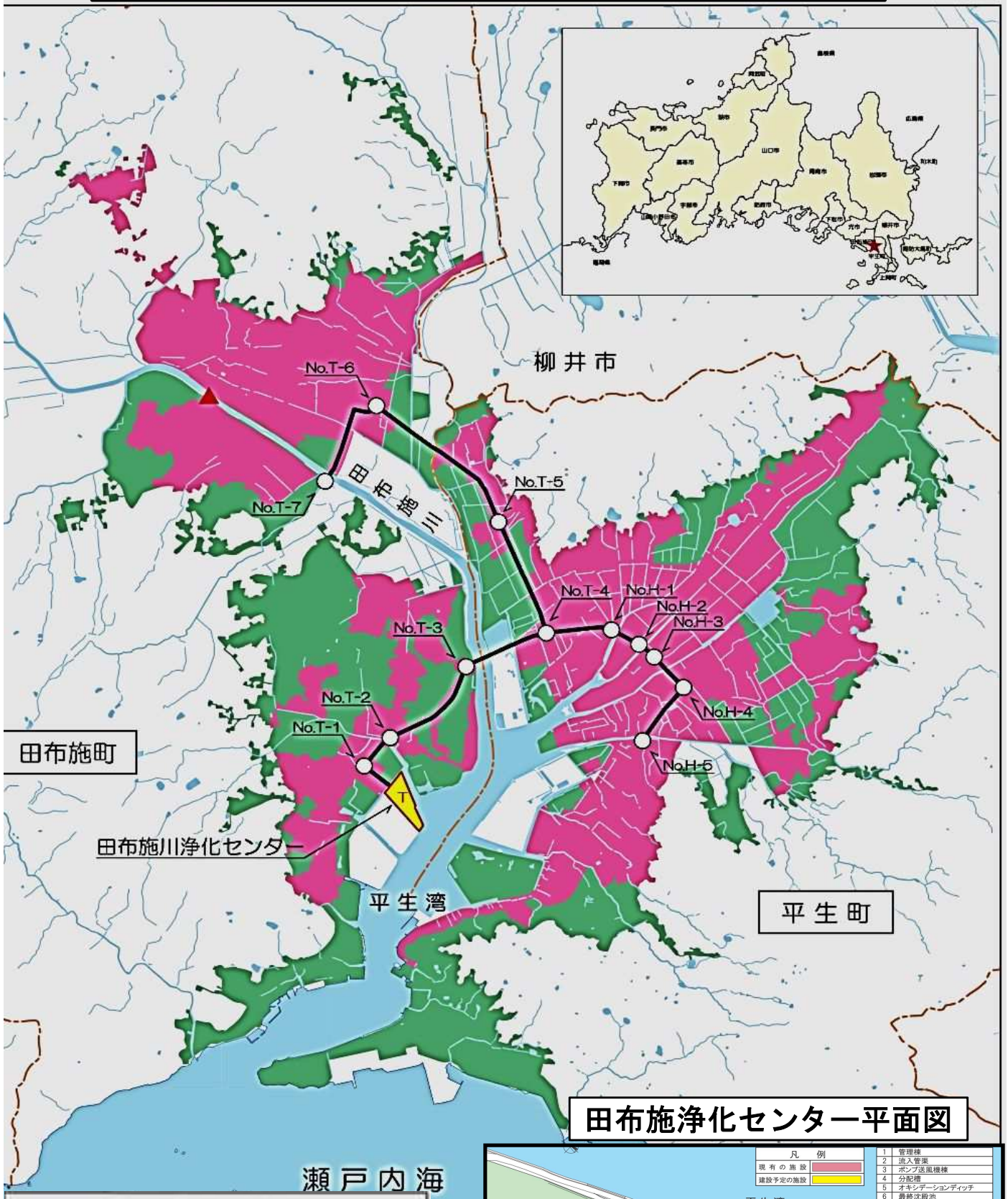


2 再評価の視点	(2) 事業の投資効果	費用対効果分析等	(単位：百万円)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">主な項目</th> <th>前回 (基準年：H22)</th> <th colspan="2">今回(再評価・再々評価) (基準年：R2)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>全体事業</th> <th>全体事業</th> <th>残事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">便益(B)</td> <td>①生活環境の改善便益</td> <td>75,886</td> <td>94,911</td> <td>46,538</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②居住環境の改善便益</td> <td>24,426</td> <td>39,218</td> <td>20,378</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③公共用水域の水質保全便益</td> <td>10,393</td> <td>12,837</td> <td>7,391</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④その他の便益</td> <td>236</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総便益</td> <td>110,941</td> <td>146,966</td> <td>74,306</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">費用(C)</td> <td>①事業費</td> <td>81,310</td> <td>112,770</td> <td>28,828</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②維持管理費</td> <td>9,911</td> <td>14,850</td> <td>5,700</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td>91,221</td> <td>127,620</td> <td>34,528</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用便益比(B/C)</td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> <td>2.2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 便益(B)・費用(C)は、算出した各年次の値を割引率を用いて現在価値に換算した合計額</p> <p>【費用対効果分析手法】</p> <p>○根拠マニュアル 前回：下水道事業における費用効果分析マニュアル(案)(H18.11)社団法人日本下水道協会 今回：下水道事業における費用効果分析マニュアル(H28.12)国土交通省水管理・国土保全局 下水道部</p> <p>○各便益の説明 ①生活環境の改善便益：悪水路(ドブ)の解消による悪臭の解消、景観の向上などの効果 ②居住環境の改善便益：トイレの水洗化の効果 ③公共用水域の水質保全便益：水質改善による公共用水域の環境価値の増大 ④その他の便益：評価期間経過以降の残存価値</p>	区分	主な項目	前回 (基準年：H22)	今回(再評価・再々評価) (基準年：R2)		備考	全体事業	全体事業	残事業	便益(B)	①生活環境の改善便益	75,886	94,911	46,538		②居住環境の改善便益	24,426	39,218	20,378		③公共用水域の水質保全便益	10,393	12,837	7,391		④その他の便益	236	0	0		総便益	110,941	146,966	74,306		費用(C)	①事業費	81,310	112,770	28,828		②維持管理費	9,911	14,850	5,700		③その他	0	0	0		総費用	91,221	127,620	34,528		費用便益比(B/C)		1.2	1.2	2.2		大項目 評価 A B C
		区分	主な項目	前回 (基準年：H22)			今回(再評価・再々評価) (基準年：R2)		備考																																																										
				全体事業	全体事業	残事業																																																													
		便益(B)	①生活環境の改善便益	75,886	94,911	46,538																																																													
②居住環境の改善便益	24,426		39,218	20,378																																																															
③公共用水域の水質保全便益	10,393		12,837	7,391																																																															
④その他の便益	236		0	0																																																															
総便益	110,941		146,966	74,306																																																															
費用(C)	①事業費	81,310	112,770	28,828																																																															
	②維持管理費	9,911	14,850	5,700																																																															
	③その他	0	0	0																																																															
	総費用	91,221	127,620	34,528																																																															
費用便益比(B/C)		1.2	1.2	2.2																																																															
(3) 事業の進捗	事業の進捗と今後の見通し	<p>県が整備する処理場については、全体計画4池のうち3池が整備済みであり、8、400m³/日の処理能力を有している。また、幹線管渠については、全延長6.7kmの整備が完了している。</p> <p>関連町における進捗状況は、平成30年度末の下水道整備進捗率で、田布施町68.1%、平生町72.2%であり、今後も未整備区域の早期整備を図る。</p>	大項目 評価 A B C																																																																
	【事業費の変化】 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	【事業期間の変化】 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	<p>事業期間の延伸は、近年の公共事業費の縮減により、事業進捗に遅れが生じていることから令和10年度としている。</p>																																																																
(4) 代替案等のコスト縮減の可能性	コスト縮減	<p>処理場整備にあたっては新技術、新工法の採用を検討し、建設費、維持管理費等のコスト縮減を図ることとする。</p> <p>管渠工事においては、マンホール最大間隔の見直し、小型マンホールの使用など経済性、施工性を考慮し、コスト縮減に努めている。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">中項目 評価</td> <td style="text-align: center;">大項目 評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">a・b</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	中項目 評価	大項目 評価	a・b	A																																																												
	中項目 評価	大項目 評価																																																																	
a・b	A																																																																		
代替案	<p>山口県汚水処理施設整備構想において、下水道と代替案である個別処理(合併処理浄化槽の設置)とを比較し、経済的である区域を下水道整備区域としていることから、現計画は妥当である。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">中項目 評価</td> <td style="text-align: center;">大項目 評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">a・b</td> <td style="text-align: center;">B C</td> </tr> </table>	中項目 評価	大項目 評価	a・b	B C																																																													
中項目 評価	大項目 評価																																																																		
a・b	B C																																																																		
3 環境	配慮事項	<p>河川、海域の水質環境を維持、改善していくため、引き続き、処理場における適正な運転管理に努める。</p>																																																																	
4 対応方針	総合評価	● 継続 ○ 見直し継続 ○ 中止																																																																	
	評価理由	<p>県及び関連町が連携して整備促進を図り、施設の適切な維持管理に努めることにより、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全に大きく寄与しているため、事業の継続は妥当である。</p>																																																																	
	備考																																																																		

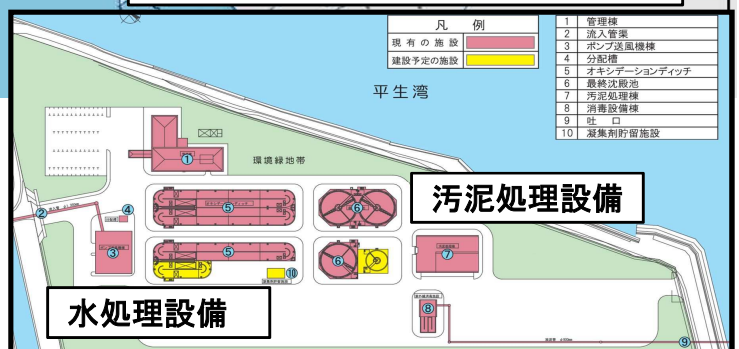
田布施川流域下水道計画図

田布施町・平生町流域関連公共下水道計画図



田布施浄化センター平面図

凡 例	
	行政区域
	関連公共下水道事業計画区域
	流域下水道幹
	関連公共下水道全体計画区域
	田布施川浄化センター
	関連公共下水道接続点
	上水道取水点



凡 例	
	1 管理棟
	2 流入管渠
	3 微細気泡曝気槽
	4 分配槽
	5 オキシレーションディッチ
	6 最終沈殿池
	7 汚泥濃縮槽
	8 汚泥脱水槽
	9 社 口
	10 凝集貯留施設

水処理設備

汚泥処理設備